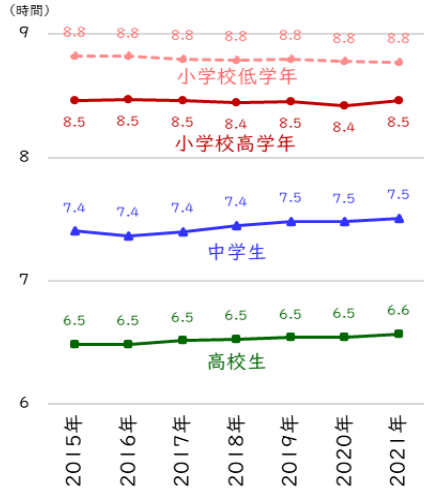


◆子どもの生活時間の変化 (2015~21年)

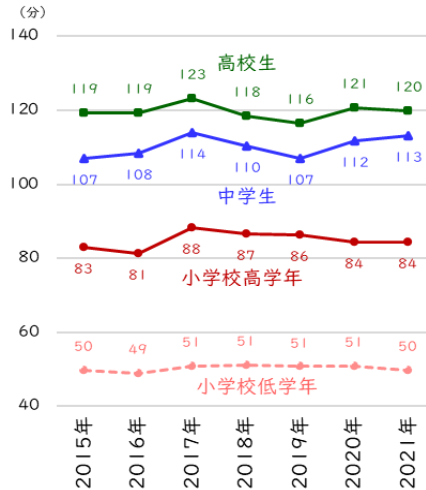
※出典:木村治生(2023),「日本の子どもにおける生活時間の経年変化」『体育の科学』73(7),471-475.

●携帯・スマホ、テレビゲームの時間が増加し、テレビ、部活動の時間が減少している

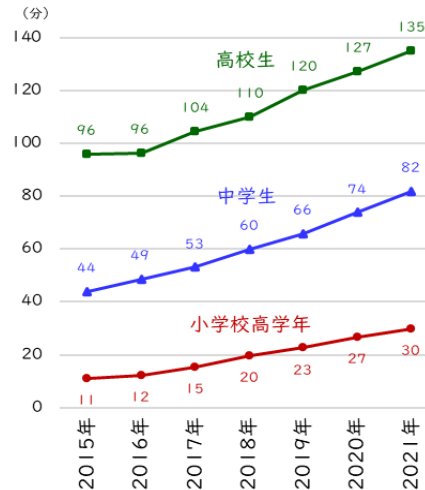
①睡眠時間



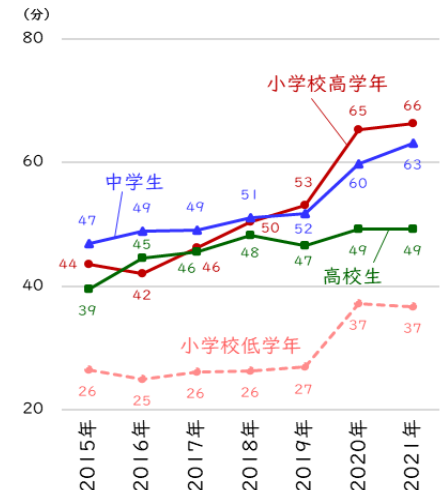
②学習時間



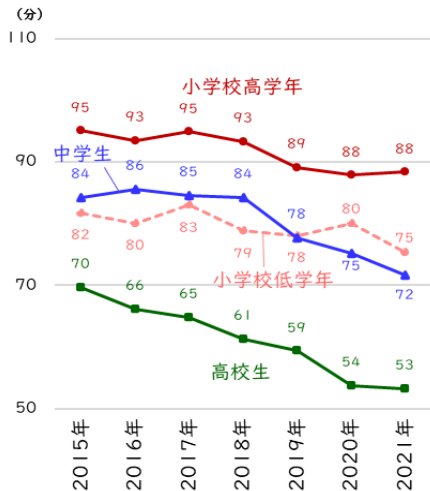
③携帯電話・スマートフォン



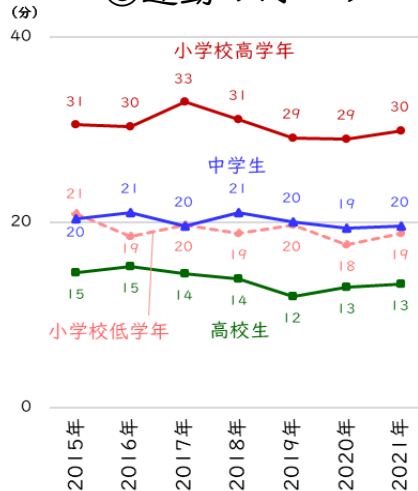
④テレビゲーム・携帯ゲーム



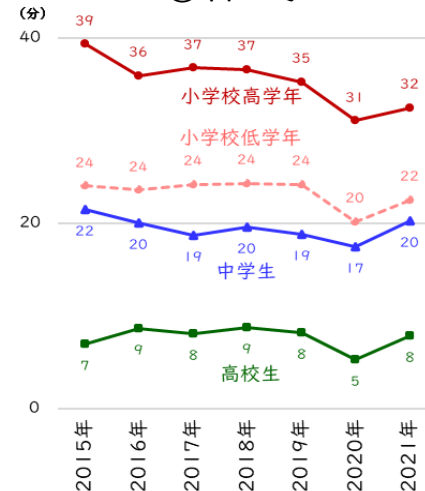
⑤テレビ・DVD



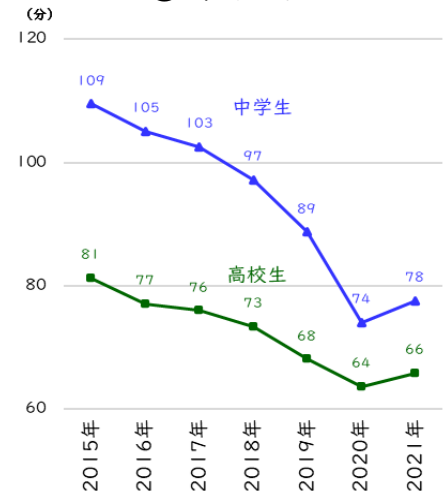
⑥運動・スポーツ



⑦習い事



⑧部活動



※時間はすべて1日当たりの時間。単位は、①のみが「時間」で、それ以外は「分」。回答者は小学校低学年のみ保護者で、それ以外はすべて子ども本人である。①は起床時刻と就寝時刻から算出した。②は「学校の宿題」、「家庭学習」、「学習塾」の合計。「学習塾」と⑦⑧は、1週間当たりの回数と1回当たりの時間から1日当たりの時間を算出した。③は小学校低学年にはたずねていない。また、⑧は小学校低学年、高学年にはたずねていない。
 ※数値はすべて、東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査」より作成。縦軸の時間の長さが異なる点に留意。